

第42回全日本小学生バレーボール大会 中信地区大会競技上の注意事項

1 競技規則について

- この大会は、2022年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール規則を採用します。
- 全試合3セットマッチとします。
- 使用球は、公益財団法人日本バレーボール協会が公認する合成皮革軽量4号ボールを使用します。女子は「モルテンボール (V4M5000-L)」 男子は「ミカサボール (V400W-L)」とします。空圧については6人制競技規則に準ずる（基本的には305hpa）。
- 空圧は基本試合前に確認する、競技委員、審判委員の協力にて行います。

2 試合の進行について

- 穂高総合体育館・三郷文化公園体育館で試合を行うチーム
審判会議終了後、第1試合の2チームによる15分間のボールを使用しての合同練習とし（練習内容は当該2チームで相談して決定する）終了後5分間をコートチェックの時間（ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止）、その後第2試合の2チームによる15分間のボールを使用しての合同練習とし（練習内容は当該2チームで相談して決定する）
終了後5分間をコートチェックの時間（ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止）、その後第1試合の2チームによる10分間のボールを使用しての合同練習とし（練習内容は当該2チームで相談して決定する）プロトコール・トス・公式練習・ゲームとします。
第1試合以降は、前試合終了後5分間をコートチェックの時間（ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止）、その後当該試合の2チームによる10分間のボールを使用しての合同練習とし（練習内容は当該2チームで相談して決定する）
合同練習終了後、5分間をコートチェックの時間（ベンチ等の消毒作業時間を含む・ボール使用は禁止）、プロトコール、トス、公式練習、ゲームとします。
- 全試合とも合同練習終了後両チーム選手は全員一旦ベンチに下がること。
- 全試合とも各セット終了後必ずベンチ等の消毒作業を行い、コートチェンジを行うこと。また、試合終了時においてもベンチ等を消毒後速やかにベンチを開けること。
- テクニカルタイムは、第1・第2セットはどちらかのチームが11点先取した時点、第3セットは、どちらかのチームが8点先取し、コートチェンジをした時点で行う。

3 エントリーについて

- エントリーについては、有効に登録された選手とし、代表者会議時に構成メンバー表を提出願います。

4 チーム編成、服装について

- ベンチには監督（成人）、コーチ、マネージャー各1名選手12以内とします。
- 監督、コーチ、マネージャー章は各チームで用意し必ず左胸に付けること。
また、ベンチ内の資格保持者全員試合中、資格証明書、県小連指導者登録済証を胸に掲げること。
また、チームスタッフは本大会申し込時までにJVA-MRSに登録されている者とします。服装に付いては同系色であれば統一した服装でなくてもよい。
- 小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。また、Tシャツの色は

他のベンチスタッフと同じような色でなくても良い。

- ・公式練習時の補助（ボール拾い等）はベンチスタッフと選手が行い、その他の者が補助を行うことはできない。

5 競技中の遵守べき事項（ガイドラインを遵守すること）

- ・ベンチにはマスコット等は持ち込み禁止。飲料水、救急箱、体調管理用品とします。
- ・ベンチスタッフは必ずマスクを着用し、大声の発生による選手への指示などは極力避ける
- ・タオル、水ボトル、アイシングバッグなど共有禁止
- ・競技中の円陣やベンチでの集合時における密集・密接・大声の発生は極力避ける。
また、チームの士気高揚となる歌等の大声の発生も体育館内では禁止とする。
- ・競技中のハイタッチは、腕のタッチにとどめ、パフォーマンスは極力控えめにするが、選手がプレー中自然に発生する声はこの限りではない。
- ・ネット際などで、相手に向いた状態での発生は控える。
- ・コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつ、試合前後の握手に関しては、一礼などで代える
- ・ベンチ内のうちわ使用について試合間はOKとします。（タイムアウト、セット間）

6 引率者の応援等について（ガイドラインを遵守すること）

- ・応援は必ずマスクを着用すること。
- ・応援場所は各会場指定された位置を当日指示します。
- ・応援は大きな声の発生はしないこと。また、手をたたいてのみの応援は認めるが、応援グッズ（太鼓、ラッパ、メガホン、ペットボトル・うちわ）による鳴り物入りは禁止。また、足踏み等の応援も禁止とする。
- ・大会開催中は大きな声での会話はしないこと。
- ・ビデオ撮影については、自チームの試合のみとする。但し、他の試合を撮影する場合は該当するチーム監督の了承を取ること。
- ・写真撮影時のフラッシュはゲームの妨げになりますので禁止となります。

7 ワイピングについて

- ・試合中のワイピングは、選手各自が小さなタオルを持って速やかに行うこと。
- ・モップ使用のワイピングは、タイムアウト時、セット間にベンチの選手が行うこと。
時間の関係上センターライン側から行う。（監督さんから試合前に指導をお願いします）また、審判員の指示があった場合は随時行うこと。

以上